

# PCA ポンプレンタルの運用

PCA とは患者自己調整鎮痛法の事であり、手術後や癌の痛みに対して患者自らが鎮痛剤を投与する方法。このため①鎮痛剤を自分で即座に投与できる ②経口投与よりも迅速な疼痛コントロールができる ③頻発する痛みでも細かく薬を調整できるメリットがある。認知機能低下や混乱症状がある場合は痛み以外の理由でボタンを押すことで過剰投与のリスクがあるため適しない。

## ●PCA のレンタル業者（三笑堂でレンタル契約の場合）

京滋エリアのレンタル業者は三笑堂のみで京都が本店で滋賀県は栗東に支店がある（TEL：077-553-6888）PCA ポンプは京都で保管しているため、調達には時間的なタイムラグが発生（最短1時間から3~4日）

### ※据え置き代替機として PCA ポンプ 1 台を無償で貸出

対象：原則として、市立長浜病院・長浜赤十字病院から在宅で継続してPCA管理をされている方

➔ 設置場所：市立長浜病院の救急センター

設置運用は病院で決定し院内周知を行う（引換券の運用やPCAポンプ使用者の明記など）

- ・スミスメディカルのレンタル費用 1台 12,000円/月（+税） レンタル限度期間1年間
- ・メディケーションカセット ○50ml 3,000円/個 ○100ml 3,500円/個 ○250ml 4,000円/個
- ・エクステンチューブセット 114cmタイプ 560円 この衛生材料は指導管理料に含まれる

この衛生材料は一個払い出しの為、返品は可能

- ・市立長浜病院・湖北病院の担当者 南氏（携帯080-6184-2538）
- ・長浜赤十字病院の担当者 澤田氏（携帯080-5632-8907）



\*PCAポンプ故障時の交換（気泡や閉塞圧などの操作上・バッテリー消耗やカセットが空の場合以外で）

【手順】PCAポンプの代替機が必要と判断

在宅医又は訪問看護師は三笑堂担当者の携帯に連絡➔連絡がつかない場合は留守電に入れる➔業者対応が困難な場合、在宅医又は訪問看護師は市立長浜病院の救急に一報を入れ、引き換えカードを渡し代替機PCAポンプを受け取る（※業者は、平日の日中以外は、対応ができない場合がある・代替機使用の場合は、後日補充）

## ●診療報酬算定

在宅悪性腫瘍患者指導管理料（※） 1500点/月  
注入ポンプ加算 1250点/月  
計 2750点/月

在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料 1500点

（※）を受けている患者に対して当該地の医療機関と連携し同1日に鎮痛療法又は化学療法に関する指導管理を行った場合に算定できる

## ●保険薬局との連携

湖北エリア内での無菌ベンチ使用はスギ薬局長浜インター店が対応している（TEL 68-1045）  
火曜日と金曜日の夜に薬剤のミキシング、水曜日と土曜日に払い出し可能（開店時間10:00~22:00）  
麻薬の充填保証期間は1週間 使用頻度は1~2件/年

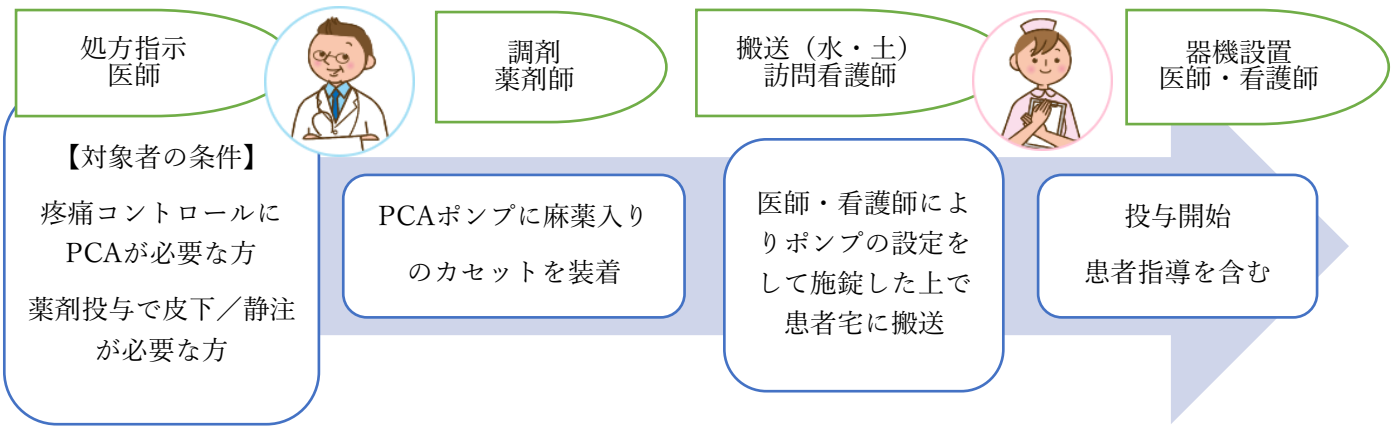
## ●訪問看護師との連携

訪問前に麻薬充填カセットをインター店に貰いに行き、訪問後に空カセットをインター店に届ける  
薬液交換専用キーは、基本訪問看護事業所の鍵ができる場所に保管する（訪問看護ST連絡協議会第6地区支部）

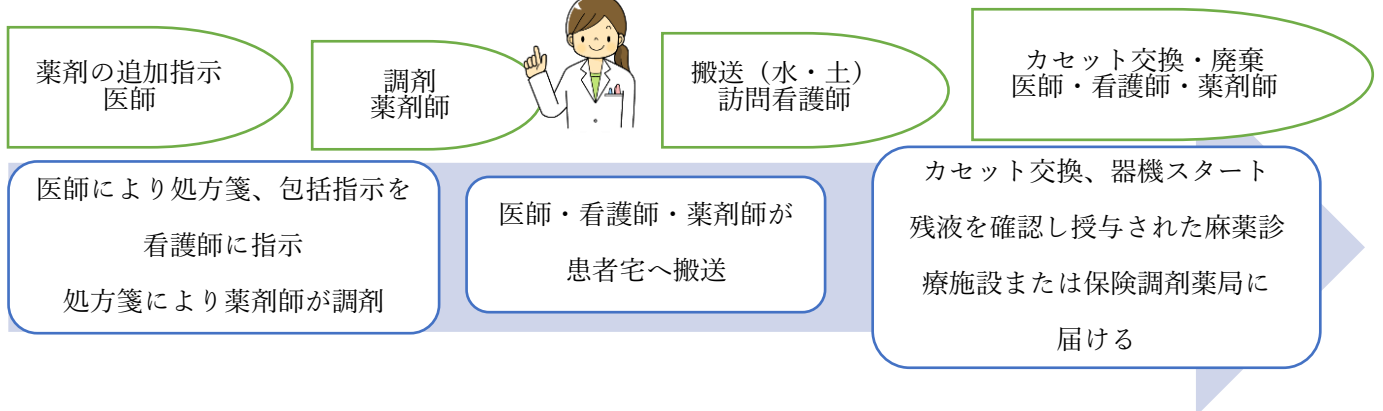
## ●ご家族

診療所で発行された処方箋と共に未使用のPCAカセットを保険薬局に届ける

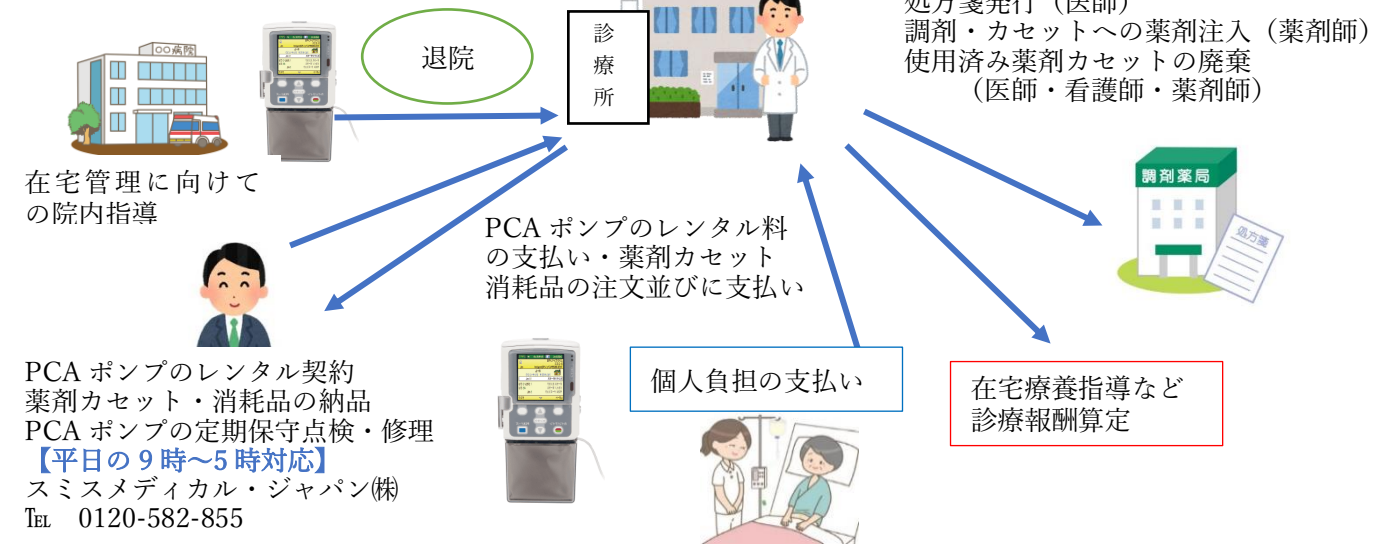
## ●運用の流れ



## 【2回目の処方】



## ●PCAポンプレンタルの流れ



- ①業者は、退院2～3日前にPCAポンプと交換用の未使用カセット・チューブ各2個を病院に持参する
- ②病院は、レンタルPCAポンプの交換と同時に薬液量を次の交換日に合わせて調節する
- ③診療所は、退院日からレンタル契約開始する
- ④契約に関して使用月の月末締め翌月払いが原則（1ヶ月分）

## ●死亡後の対応

死亡後、訪問看護師はPCAポンプを除去し、残薬入りカセットをスギ薬局インター店に持参  
PCAポンプは診療所に返却する  
診療所は返却の旨を業者に連絡し、業者はPCAポンプを診療所から回収する（レンタル契約は1か月単位）

## ●購入の場合

定価では50～60万円（1年間保証）メンテナンスに3万程度（バッテリー交換）の費用発生／1台